

平成28年第7回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

平成28年7月28日（木）午前10時02分から午前11時24分

○場 所

筑紫野市役所 第9会議室

○出席委員（5名）

教育委員長	近本 明	教育委員	潮見 眞千子
教育委員	田代 邦夫	教育委員	西村 幸子
教育長	上野 二三夫		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（10名）

教育部長	熊手 寛明	教育政策課長	森 敬
学校教育課長	横山 美津子	学校給食課長	砥上 章
生涯学習課長	長澤 龍彦	文化情報発信課長	奥村 俊久
指導主事	中尾 智浩	指導主事	井口 弘美
指導主事	松田 高行	社会教育主事	宮垣 郁子

○出席事務局職員（1名）

教育政策課
庶務担当係長 田川 博章

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について
平成28年第6回筑紫野市教育委員会会議録（平成28年6月29日開催）
2. 教育長の報告について
3. 議案第29号 筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱について
4. 各課等の報告について
5. その他

会議録

○教育委員長：定刻となりましたので、ただいまから平成28年第7回筑紫野市教育委員会定例会を開会します。

では、議事日程の順序に従い会議を進めます。なお、発言は委員長の許可を得た後にお願いします。

日程1、教育委員会会議録の承認の件

○教育委員長：平成28年6月29日開催の平成28年第6回筑紫野市教育委員会定例会の会議録について、承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育委員長：御異議なしと認めます。よって、本件については承認されました。

日程2、教育長の報告の件

○教育長の報告

- ・7月13日朝の登校時間について
- ・市教委による懇談訪問について
- ・管理職試験受験者に対する指導について
- ・夏休みの生活全般について
- ・管内教育長会の報告について
- ・地区別教育長会の報告について

○潮見教育委員：管理職試験に関してですが、女性管理職は増える方向なのでしょうか。

○教育長：今現在、筑紫野市も中学校校長に女性1人、小学校校長に女性1人おりますが、16校で2人ですので、増えて欲しいと思います。

○潮見教育委員：増えて欲しいと思いますが、希望者も増えていますか。

○教育長：2030とあって、20年度には3割にふやそうとしています。なかなかそこまでいきませんが、努力はしていかなければならないと思います。

○西村教育委員：教員の男女比ですが、小学校は女性が多いようですが。

○教育長：小学校の女性の比率は大体55%ぐらいです。中学校は若干男性が多くて、55%から60%ぐらいです。しかし、天拝小学校は女性が80%で男性が20%とひずみが大いなので、男性の先生を入れるように人事課にお願いをしています。天拝小学校の修学旅行に塔原と天拝坂と大門の区長3人が自費で同行してもらっていますが、女性の先生ばかりでは大変だろうからと、お手伝いしてもらっています。ありがたいことです。

○西村教育委員：地域ボランティアの発展ということですね。

○田代教育委員：管理職に合格するのは退職者数に見合う数ですか。ふさわしい人がいれば、全員が合格するということですか。

○教育長：退職予定者数の倍ぐらいは候補者として挙がっているようです。

○教育委員長：以前の管理職選考試験は、ランクをつけて登録名簿に載せ、その中から管理職にしていくということがありました。

○西村教育委員：筆記・面接をあわせて受験するのと、面接のみというのがあるようですが、以前筆記は合格した方は、面接だけでいいということですか。

○教育長：1回受けたら次は受けなくてもいいことになっていますが、成績が不十分だったと思えば再度受けることも可能です。

○教育委員長：男女平等参画社会ということが全国的に言われていて、行政もしっかりやらないといけません。男女共同参画で女性の管理職を40%にするという目標を設定していますが、未だに女性の管理職が少ないのは、部長や県知事などのトップの姿勢が大きく影響すると思います。これから、女性50%、男性50%と決めて採用していけば、行く行くは管理職も女性50%、男性50%になります。今は女性の採用が少ないですから、根本的にメスを入れるなら、男性50%、女性50%で採用すればいいと思います。

○教育委員長：質疑を打ち切ります。

日程3、議案第29号筑紫野市文化財保護審議会委員の委嘱についての件

文化情報発信課長：（議案説明）

○田代教育委員：この審議会は、定期的に行われているのですか。

○文化情報発信課長：審議案件が出て、市の指定等を予定しているときに開催をしております。大体、年1回もしくは2回ほど実施しているところです。

○教育委員長：本件について承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育委員長：御異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程4、各課の報告の件

○教育部長の報告

- ・6月議会の報告について
- ・大雨の対応について

○教育委員長：避難所には、水、発電機、トイレなどについて配慮してあるのでしょうか。停電になったら電気、水の確保、トイレが大事だと思います。これがないと避難所として機能しない

と思いますので、予算措置など、防災の観点からできるだけ早く準備して欲しいと思います。

○教育部長：最近の大雨に関しては、2次避難所として開設するときは、自主避難というものです。避難勧告より少し上の避難指示になりますと、食料、水、毛布といったものは本部で準備します。ただ、自主避難というのは避難所を開設しているだけですので、食料、水、毛布などについては個人で確保していただきますが、電気やトイレについては、停電時には発電機を、トイレが使えないときには仮設トイレなどを本部で準備していくと思います。

○田代教育委員：対策本部が設置されたときは1次避難所が開設されるのですか。

○教育部長：そうです。まず、警戒本部と対策本部の内容を説明しますと、警戒本部というのは大雨警報が出た場合です。土砂災害警戒情報が発令されたときに対策本部に移行いたします。避難所のマニュアルがございまして、対策本部になったときに1次避難所を開設し、その上の土砂災害警戒情報のレベル2になったときに2次避難所に移行するようになっております。状況に応じて避難所を開設し、皆さんに周知するようにしております。

○西村教育委員：コミュニティスクールが発足したときに、各学校に水、お茶の自動販売機を設置して、コミュニティスクールの運営費用に充てながら、避難所になったときは無料配布できる自動販売機を置くという話が出ていましたが、災害対策とつなげていくことはできないですか。

○教育長：PTA、保護者、地域からの要望が強くないと難しいと思います。

○教育政策課長の報告

・同和問題啓発強調月間の報告について

○田代教育委員：土曜日の同和問題講演会の感想ですが、今まで聞いた話と切り口が違うというか、違う側面からの話で、初めて聞いたような気がしました。ネット社会になって、今まで学んできたことと随分違う状況に展開していることを如実に感じた講演でした。

○教育委員長：不特定多数の人は、そこだけ捉えて深く考えないので、研修会などで事例を出すときは、慎重に取り扱ってくださいと伝えていきます。しかし、だんだん流れが変わってきてネットによる差別が増えていきますので、今回の講演会はよかったと思います。講演会で高校生の歌がありました。高校生の親戚や親も来ますので、一人でも新しい人に参加してもらおうという発想が大事です。あんなに沢山の人を集めることができたのは、係の方たちの努力があったからだと思います。ありがとうございました。

○学校教育課長の報告

・コミュニティスクール研修会について

○学校給食課長の報告

・平成27年度筑紫野市学校給食事業について

・8、9月分献立表について

○田代教育委員：パーセントで見るとそれほどありませんが、金額を見ると大変大きいように感じますが、これに対してどういう対応をされているのですか。過年度分というのはずっと累積していくのですか。

○学校給食課長：給食費の徴収につきましては、各学校の校長の責任において徴収をしていただいているところですが、未納率については、6月の教育委員会で提出させていただいた参考資料に西日本新聞の記事がございましたが、2012年度、4年前に文部科学省が抽出調査をしております。その調査では児童生徒の0.9%が未納であったという報告があります。本市におきましては、それより若干低い率になっておりますが、対応につきましては各学校で未納の方に文書や電話などで催告をしていただいたり、家庭訪問をしていただいていると聞いております。

過年度分についても各学校において取り組みをしていただいておりますが、卒業生には、文書や家庭訪問などで払っていただくようお願いしたり、在校の兄弟がいる場合は、在校生の分と合わせて払っていただくように指導していると聞いております。

○田代教育委員：過年度分は市の会計にずっと残っていくものなのですか。

○学校給食課長：この会計は、市の一般会計や特別会計とは違う会計でございまして、学校の中の会計になっております。

○西村教育委員：給食費徴収というのは各学校の先生方がかなりの努力を要するものだと思いますが、中には1%を超えている学校があるようですが、こういうところは家庭の貧困や、苦しい家庭事情などがあるところではないのでしょうか。行政で分析などしてありますでしょうか。

○学校給食課長：学校ごとに徴収率が違ってしますので、原因をきちんと分析しないといけないと思っております。例年8月に文部科学省から県の教育事務所を通じまして調査が参りますので、それによってどういふかわりをしていくのが適切なのかを検討する必要があると思います。

○潮見教育委員：未納が多いと赤字になるのですか。会計の処理はどうなっているのでしょうか。

○学校給食課長：給食費の総額に対して未納ということになっておりますので、調理場に副食代、調理場でつくっているおかずの材料費を学校から納めていただきます。牛乳代と主食代については、各学校からそれぞれ、県学校給食会に支払いをしていただいております。全体的な未納分については各学校で精算されています。

○西村教育委員：学校会計で全て賄っているということなので、未納分は学校が支払っているということですか。

○学校給食課長：給食費は各保護者から集めていただいておりますので、未納分を各学校がどう運営されているのか詳細までは把握できておりません。

○教育委員長：校区による生活の格差が筑紫野市にはかなりあります。食べたらずかないといけません、それができないところもあります。この前の同和問題講演会でもあったように、部落

差別の結果として教育を受けていないことから釣銭の計算がわからない親もいます。私が担任をした子どもも、教育を受けていないことから、計算できない親がいました。親は計算ができないから子どもにお金を渡して、栄養のこととか全然考えずに子どもが好きなものを買ってくるようなことが繰り返されていたことがあります。今は計算ができない家庭はないと思いますが、中にはあるかもしれませんので、教師は家庭状況をよく把握して、滞納があれば10円でもいいから納めてもらうような話ができるようにならないといけません。面倒ですが、先生たちが頑張って家庭状況を把握して話ができるようになるといいと思います。未納について学校が頑張っていることを把握する必要があるのではないのでしょうか。ある学校では事務補助員が頑張ってゼロにされたところもあります。徴収は大変難しいですがお願いします。

○生涯学習課長の報告

- ・ 青少年育成事業について
- ・ 小学校プール一般開放事業について
- ・ 平成28年度第59回福岡県県民体育大会夏季大会について

○文化情報発信課長の報告

- ・ 7月の事業報告、8月の予定について

日程5、その他の件

○潮見教育委員：学校の授業中に子どもがいなくなったという配信が来ますが、保護者や地域の方にも配信されているのでしょうか。先月、生涯学習センターに、小学校の子どもたちが授業中に遊びに来ていて、ボランティアバンクにかかわっている人がたまたま学校の保護者でしたので、メールを思い出して確保できたそうです。学校の関係者だけでなく市内の施設にも配信をされたら、早く対処ができるのではないかと思います。

○学校教育課長：そういう情報が入りましたら、まずは教職員、それから教育委員会で捜すことになりませんが、それだけでは十分ではないといったときに配信をいたします。ただ各施設までの配信についてはケース・バイ・ケースと考えております。今回そういった事例が数件発生しましたが、大事に至らず、当日数時間後には発見されました。

○教育長：どうしても見つからない場合は警察に被害届を出してもらいます。

○学校教育課長：そういった事態に至る子どもたちの背景がありますので、なぜそういう行動に至ったのか、教育委員会でも学校と連携をとって、しっかりと確認していきたいと思います。

○田代教育委員：二日市中学校との懇談のときに、予算の関係でエアコンが思うように使えないとおっしゃっていました。どういう使い方になっているのか、教えていただけませんか。

○教育政策課長：平成26年度に各小中学校の普通教室に空調を設置しましたが、ほとんどがガス

式ですので、空調を使えばその分ガス代がかさみますので、学校予算が圧迫されます。学校はガス代を使わなければ、その分を児童生徒の教材や、消耗品に割り振れるところがありますので、予算を理由に空調を使えないと言われるところがあります。ただ、本来は空調に係るガス代は教育政策課が予算編成時に聞き取りをして配当しておりますので、配当した分のガス代でやりくりしてもらうことが前提だと考えています。光熱水費、消耗品、教材費など、教育委員会で各学校に予算の割り振りをしてはいますが、学校としては総枠でしか捉えていませんので、会計処理の考え方からすると間違いなのですが、できるだけ光熱水費を抑えて、余ったお金を教材費に回そうとしています。それと、平成26年度に全部の普通教室にエアコンを設置したこともあって、かなり金額的に上がっていますので、温度設定などに気をつけながら、節約に努めてくださいと校長会などでお願いしています。

○西村教育委員：気候条件が苛酷になってきているので、子どもの健康維持を一番に考えてもらいたいと思います。教育の充実のためにも学校は予算が欲しいと思いますが、子どもたちの健康のための費用だということを、しっかり学校に示していくことが大切かと思います。

○教育委員長：今の件については、できないところをできるようにするにはどうしたらいいかという視点で考えてください。

○教育委員長：以上で本日の議事は終了しました。これをもちまして平成28年度第7回筑紫野市教育委員会定例会を閉会します。